

諸外国の4回目接種の対応状況について

諸外国においては4回目接種の開始を決定している国が増加しており、これらの国では対象者を重症化リスクの高い者等に限定している。3回目接種から4回目接種までの接種間隔は、国によりばらつきがある。

国・地域	基本方針の 発出機関	認可/推奨ワクチン	4回目接種※ ¹ の接種方針
 米国	CDC	mRNAワクチン	追加接種から4か月以上経過した、50歳以上の者、中等度から重度の免疫不全者、ヤンセン社ワクチンを初回・追加接種で接種した者が接種し得る（2022/3/29）
 英国	NHS	ファイザー、モデルナ※²	追加接種から6か月以上経過した※³75歳以上の者、介護施設に居住する高齢者、12歳以上の免疫不全者に対して提供される（2022/3/3）
 カナダ	NACI	ファイザー、モデルナ、ノババックス※⁴	- 追加接種から6か月以上※⁵経過した80歳以上の者、長期ケア施設や共同居住施設に入居する高齢者に推奨 - 各地の当局は70－79歳への提供も考慮し得る（2022/4/5）
 フランス	保健省	mRNAワクチン	- 追加接種から3か月以上経過した80歳以上の者、免疫不全者（2022/3/15） - 追加接種から6か月以上経過した60歳－79歳の者（2022/3/31）
 ドイツ	保健省	mRNAワクチン	追加接種から3か月以上経過した70歳以上の者、5歳以上の免疫不全者、介護施設入所者、追加接種から6か月以上経過した医療・介護従事者を対象に接種を推奨（2022/2/15）
 イスラエル	保健省	ファイザー、モデルナ、アストラゼネカ※⁶	追加接種から4か月以上経過した60歳以上の者、18歳以上のハイリスク者※⁷、免疫不全者、療養施設入所者、医療従事者、ハイリスク者の介護者、職業上曝露リスクの高い者は接種し得る（2021/12/30）
 国際連合	WHO	—	（記載なし）
 EU	EMA	（明記なし）	80歳以上の者に接種し得る。接種間隔は4か月以上のデータしかないことに留意する（2022/4/6）

※¹ “Second booster” を指し、免疫不全者で初回シリーズで3回目を接種した者は5回目、ヤンセン社ワクチンを初回シリーズで接種した者は3回目接種に該当。

※² ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチン以外にも医師より例外的に他のワクチンを推奨され得る。 ※³ 少なくとも3か月以上経過していることが必要。

※⁴ ノババックス社ワクチンは適応外使用。 ※⁵ 6か月を推奨するが、地域の疫学的状況を考慮してより短い間隔での接種も適応となり得る。

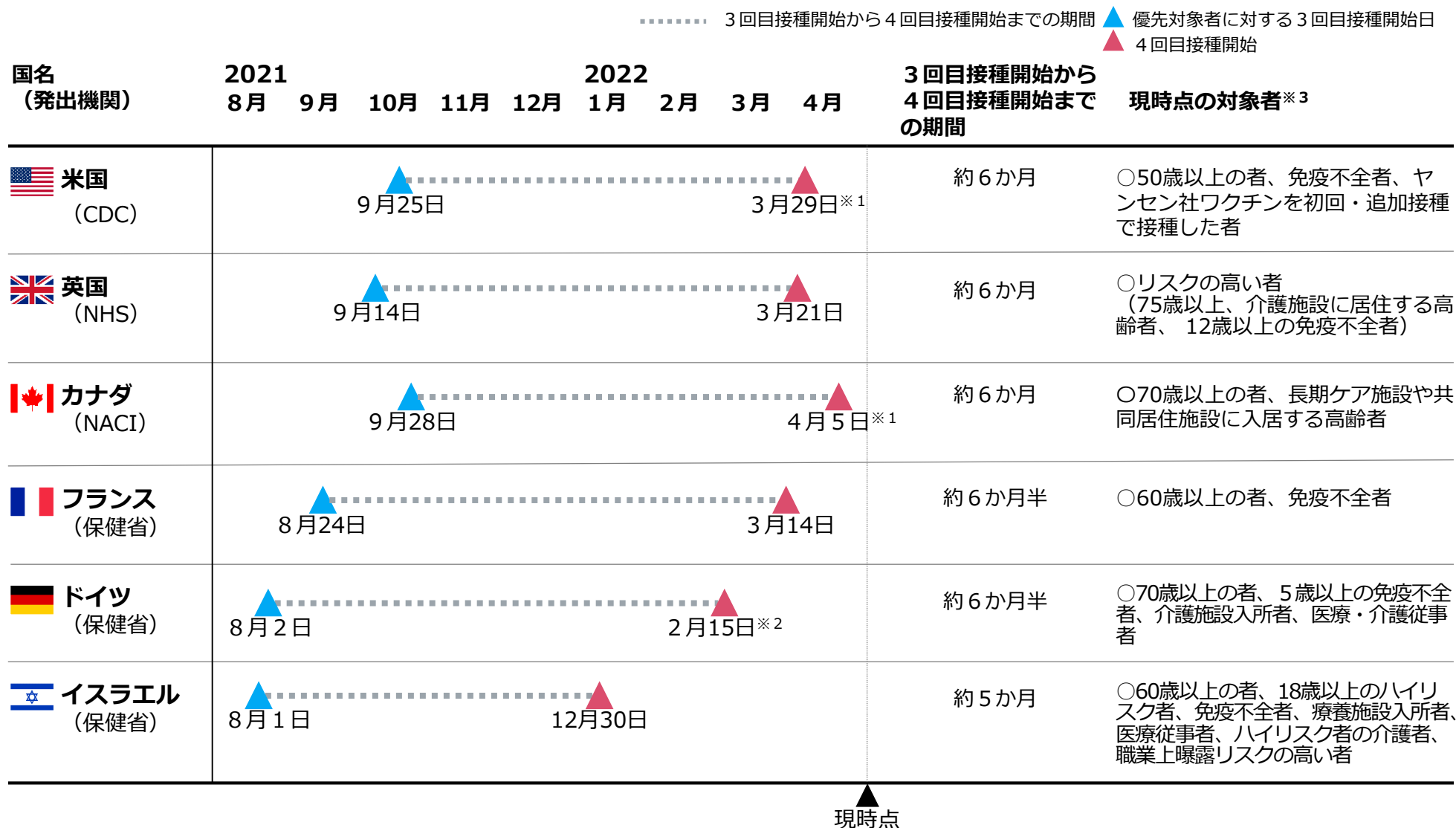
※⁶ 初回シリーズ及び3回目接種と同種接種が好ましい、とされている。アストラゼネカ社ワクチンは接種を認めているが推奨はしていない。

※⁷ ハイリスク者には妊婦等を含む。

Source: [CDC](#), [NHS](#), [NACI](#), [フランス保健省](#), [ドイツ保健省](#), [STIKO](#), [イスラエル保健省](#), [EMA](#)

2. 本日の論点：【4】新型コロナワクチンの4回目接種について（3）諸外国の対応状況

(参考) 諸外国における新型コロナワクチンの4回目接種の実施状況



※1 4回目接種の推奨開始日。

※2 2月15日に諮問機関が推奨。3月10日時点で約80万人が接種（ロベルトコッホ研究所週次報告）

※3 “Second booster”の対象者を指し、免疫不全者で初回シリーズで3回目を接種した者は5回目、ヤンセン社ワクチンを初回シリーズで接種した者は3回目接種に該当。

Source: [CDC](#), [NHS](#), [フランス保健省](#), [ドイツ保健省](#), [STIKO](#), [イスラエル保健省](#)